ガイアテック、石灰石鉱山開設

工場（吉田町）改築が起工

㈱ガイアテック（福永重男社長、川内市）は、鹿児島郡吉田町に石灰石（貝化石）鉱山開設に伴い「吉田工場改築工事」を計画、2日、現地で起工式を行い、関係者約20人が出席して無事故無災害で無事完成することを祈念した。

吉田町の貝化石は、九州では唯一の産地、貝密度の高さなどから全国的に知られていたが、約10年前鉱山拡張が難航、休止状態が続いていた。そこで同社が平成15年、同採掘地域を確保し、以前から取得していた採掘権をあわせて事業化した。

同社では採掘する貝化石がアラゴナイト系の有機質カルシウムで、ミネラル成分を豊富に含んでいることから、有機肥料、家畜飼料の添加剤、水の浄化剤やフィルターなどに利用する計画。現在九州経済産業局の指導を受けており、夏頃の稼働を予定。初年度は2億円の売り上げを目指す。

起工式では、刈り初めの儀を植村久植村企業グループ会長、鍬入れの儀を福永社長らが力強く実施。次いで、福永社長、植村会長らが玉ぐしを捧げて工事の安全を祈った。福永社長は「公共事業の減少などを含め建設業界の厳しい状況の中、新事業を計画していたところ、吉田町の貝化石が他産地より高品質で付加価値も高く、同鉱山の再開を望む声が強かったので開設することになりました。今後は肥料、飼料以外にもいろいろな分野で利用していきたい」と語った。

建設地は同町西佐多浦4364で、敷地面積約2430平方㍍。事務所兼倉庫がS造一部2階建224・77平方㍍で5月末の完成を予定。設計・施工は㈱植村組が担当。また、工場は既存する建物（S造平屋建）577・07㎡）についてスレート葺き替えを実施する。6月内で整備を終えるもようだ。

刈り初めの儀を行う植村会長、鍬入れの儀を行う福永社長（上から）＝吉田町の現地で

国道維持管理

ワークショップ協議会

鹿児島国道事務所発注の15年度維持工事等の受注業者9社で構成する「国道維持管理・コミュニケーション型ワークショップ協議会」は、これまで定期的な勉強会及びコミュニケーション・提案型の施工計画書を提出し施工するなど、具体的な取り組みを行ってきた。その結果として、「魅力あるみちは地域と共創・協働の思いで！―いじかんり仕事提案・施工事例集―」＝写真＝を作成した。

同協議会は、維持管理の仕事は国道としての役割や機能を維持し、発揮させること、地域づくりの視点にたった取り組み、仕事を行うことが重要であり、道路の維持仕事に携わる受発注者間の仕事に対する共通認識と一体感を持つことが必要不可欠。このこと等を踏まえ設立した。

冊子は、積極的なコミュニケーションとワークショップを図るため「地域と連帯感」「スタッフの情報共有」「専門性、特殊性を生かす」「地域への情報発信」の四つのキーワードで、写真や図表をふんだんに取り入れ編集。中でも、実施事例には提案（Plan）、実行（Do）、評価・反省（Check）を明確に示し、見やすく、分かりやすく解説している。

提案・施工事例集を作成

受発注者の一体感の取組み

岩山順一同所工事施工管理官は「維持管理の仕事は、受発注者が一体となった取り組みと仕事を行うことが重要。今後も協議会を通じて実践した施工提案・事例等を踏まえ、魅力あるみちづくりを創造し、国民に安心して利用される維持仕事ができれば」と語った。

また、同協議会メンバーらは「この取り組みにより、与えられたものをやればから、仕事に対するやる気や心構えが変わり、地域を意識し関わりの大切さがでてきた。今後も向上心を持って頑張っていきたい」と話した。

また、16年度も維持工事等受注業者による協議会を設立し、定期的な勉強会やコミュニケーション・提案型施工計画書を提出し施工する。特に維持工事の専門性・特殊性を生かすために施工のノウハウ、施工提案のデータベースを行うとともに情報共有のするシステム構築など、維持工事の持続・継続的な施工・対応の重要性を考慮した場合の施工体制のあり方等を検討するほか、鹿児島維持出張所所管の国道3号伊敷地区路面整備等、国道3号CCB整備工事の安全協議会の設置なども予定している。

協議会メンバーは次の通り。

建設サービス㈱鹿児島営業所　第一建設㈱　㈱加覧組　㈱藤田組　樋口建設㈱　㈱栗牧電設　井上緑地建設㈱　㈱光林緑化　㈱山之内庭園

鹿児島市管工事協組 親睦ボウリング大会

中央工業Aが見事優勝

鹿児島市管工事協同組合（肥後勝司理事長）はこのほど、鹿児島市のベイサイドガーデン国際ボウルで親睦ボウリング大会を開き、熱戦を繰り広げた結果、団体の部で中央工業㈱Aチーム、個人の部で片平浩二さん（中央工業㈱）が見事優勝した。

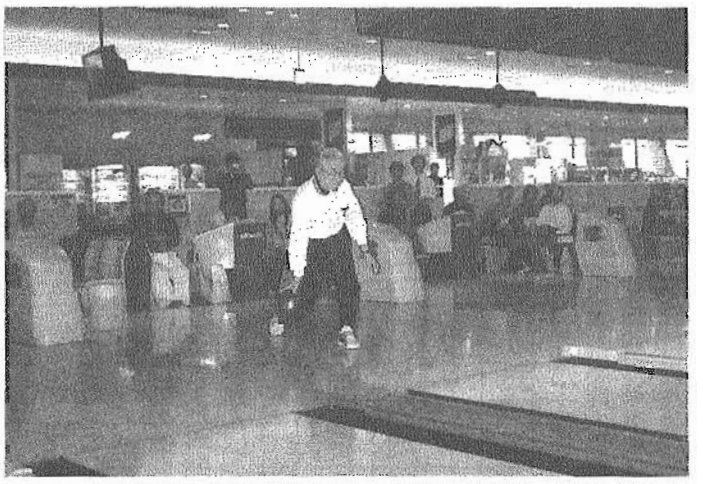
この日は、会員や家族ら約190人が参加。優勝旗返還、競技上のルールや規定などを説明した後、和田正憲副理事長の始球式でスタートした。競技方法は1人2ゲームとし、4人1組の合計得点で争われ、試合会場は日頃の実力を発揮して、連続ストライクを出す人や、珍プレーの連発で場内を沸かす人など、終始和やかな雰囲気の中、会場内は大歓声で盛り上がった。

また、大会終了後の表彰式では、新たに理事長賞が設けられ、抽選により「新幹線で行く福岡ペア宿泊券」が贈られるなど、準備された多くの賞品を手に入賞者は大喜びしていた。

主な成績は次の通り。

【団体の部】優勝＝中央工業㈱A▽準優勝＝九錦設備工業㈱▽3位＝企画委員会

【個人の部・男子】優勝＝片平浩二▽準優勝＝十河宏基（㈱INAX）▽3位＝横山勝一（大協㈱）



和田副理事長の始球式でスタートしたボウリング大会＝鹿児島市のベイサイドガーデン国際ボウルで

鹿銀の県内景況

民間建築 厳しい受注競争

鹿児島銀行はこのほど、最近の県内景況を発表した。総括では「全体としてみればまず順調で、個人消費関連にも幾分持ち直しの兆しがみられるが、これは特殊要因に支えられた面もある」と報告し、建設業関連では「低調に推移しており、全体としては景気の厳しさが続いている」とまとめた。

詳細報告では、公共工事発注（2月）は、前年を大きく下回り、受注状況の厳しさが続いている。一方、民間建築は、盛り上がりに乏しく、厳しい受注競争が続いている。新設住宅着工戸数（1月）は、前年比1・1%増と3カ月ぶりに増加した。用途別でみると、持家が10・7%増、貸家も12・5%増で、分譲はマンション着工がなく70%減となった。

また、主要建設資材卸売業者の売上げ（2月）は、工事量の少なさを反映し、低調に推移している。生コン生産（2月）は、公共工事向け、民間工事向けともに低調で、販売競争は厳しさが続いている。木材関係では、住宅建設向け需要が弱いことから、製材品は生産・出荷ともに低調に推移。このため、市況は国産材では原木、製品ともに弱含みで推移しているが、外材は供給減や船賃コスト上昇の影響により原木、製品ともに強含んでいる。

県、合併重点支援地域

枕崎市・知覧町地区を指定

県は1日、枕崎市・知覧町合併協議会が設置されたことから、新たに同地域を合併重点支援地域に指定した。なお、指定地域（対象市町村）は、今回の指定を含め22地区（87市町村）、未指定地区は9市町村となった。

安心システムで21世紀の響生を追求する
㈱南栄技研
鹿児島営業所　鹿児島市中山町1406－1　☎(099)260-6100
国分営業所　姶良郡隼人町西光寺前田118-10　☎(0995)43-2972
川内営業所　川内市高城町1688　☎(0996)27-1996
鹿屋営業所　鹿屋市東原3172－6　☎(0994)40-9360
宮崎営業所　東諸県郡高岡町大字花見字横山1720-18　☎(0985)30-9680
八代営業所　八代市上片町1351－1　☎(0965)35-4878
都城営業所　都城市都北町7411　☎(0986)38-6120
延岡営業所　東臼杵郡門川町大字加草字深迫616-1　☎(0982)63-5458
熊本営業所　鹿本郡植木町亀甲字西池上2074　☎(096)273-3666